

計画の名称	山陰海岸ジオパーク圏域3府県周遊観光活性化計画（重点）												
計画の期間	平成30年度～平成34年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	兵庫県												
計画の目標	鳥取県・兵庫県・京都府の3府県の日本海沿岸部をエリアとする、世界ジオパークネットワークに加盟の“山陰海岸ジオパーク”圏域では、地質遺産をはじめとした多様な地域資源を保全し、教育・観光・地域産業に活用することで、地域活性化を図る活動が行われている。これらの活動に合わせ、拠点施設間のアクセス強化や拠点施設周辺の整備を推進し、広く圏域外からの来訪者の増加を図ることにより、広域的な地域活性化を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,550	A	2,550	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26～H28平均値)	中間目標値 (H32)	最終目標値 (H34)
1	【鳥取県・兵庫県・京都府 共通目標】 観光入込客数273万人（H26～H28平均値）から286万人（H34）に増加（13万人（5%）の増加）			
	【鳥取県・兵庫県・京都府 共通目標】 山陰海岸ジオパークエリアにある拠点施設の観光入込客数 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の観光入込客数 - H26～28年度の年間観光入込客数の平均値) / (H26～28年度の年間観光入込客数の平均値)	273万人	281万人	286万人
2	【兵庫県 単独目標】 観光入込客数156万人（H26～H28平均値）から163万人（H34）に増加（7万人（5%）の増加）			
	【兵庫県 単独目標】 兵庫県内の山陰海岸ジオパークエリアにある拠点施設の観光入込客数 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の観光入込客数 - H26～28年度の年間観光入込客数の平均値) / (H26～28年度の年間観光入込客数の平均値)	156万人	160万人	163万人
3	【兵庫県 重点目標】 観光入込客数131万人（H26～H28平均値）から137万人（H32）に増加（6万人（5%）の増加）			
	【兵庫県 重点計画目標】 豊岡市 豊岡・城崎地区内にある拠点施設の観光入込客数 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の観光入込客数 - H26～H28の年間観光入込客数の平均値) / (H26～H28の年間観光入込客数の平均値)	131万人	135万人	137万人

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	—
○全体事業費に占める効果促進事業費（提案事業）割合は、0%となる。○その他事項については、備考-1に記載。								

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	H32	H33	H34				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
広域連携事業	A11-001	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	(一) 戸島玄武洞豊岡線 赤石工区	現道拡幅 L=0.6km	豊岡市	■	■				500	—		
	A11-002	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	国道	改築	(国) 312号 下宮工区	現道拡幅 L=0.2km	豊岡市	■	■	■				400	—	
	A11-003	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	(主) 豊岡瀬戸線 湯島 工区	現道拡幅 L=0.4km	豊岡市	■	■	■	■	■		750	—	
	A11-004	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	(主) 豊岡竹野線 今津 (右岸) 工区	バイパス L=0.8km	豊岡市	■	■	■	■	■		900	—	
小計																	2,550			
合計																	2,550			

(注) 今後の社会情勢や交付される予算規模により、事業箇所や実施期間等を変更する可能性があります。

(備考-1) 整備計画関連事項

計画の評価の実施予定		
中間：平成33年10月予定、事後：平成35年10月予定		
拠点施設・重点地区		
拠点施設	(豊岡市 豊岡・城崎地区) 玄武洞ミュージアム、コウノトリの郷公園、城崎温泉	
重点地区	-	
関係都道府県との連携の内容、進め方		
連携内容	鳥取県、兵庫県、京都府において、広域観光ルート形成に向けたアクセス道路の整備等を実施する。	
進め方	各府県において計画した各事業については、適宜、山陰海岸ジオパーク推進協議会を通じて、あるいは個別に状況報告や情報提供等を行いながら進めていく。	
事業概要		
整備方針		整備方針に合致する主な事業
①	拠点施設へのアクセス時間を短縮させ、周遊効率性を高める	(基) 道路拡幅3箇所、B P整備1箇所
②		
③		
④		
⑤		
(参考) 交付対象事業に関連して実施される主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・山陰海岸ジオパーク圏域3府県周遊観光活性化計画の交付対象事業 (事業主体：兵庫県 事業期間：平成30年～平成34年、別紙：山陰海岸ジオパーク圏域3府県周遊観光活性化計画 参照) ・山陰海岸ジオパーク圏域3府県周遊観光活性化計画の交付対象事業 (事業主体：鳥取県、事業期間：平成30年～平成34年) ・山陰海岸ジオパーク圏域3府県周遊観光活性化計画の交付対象事業 (事業主体：京都府、事業期間：平成30年～平成34年) ・北近畿豊岡自動車道 (日高神鍋高原 I C～(仮称)豊岡南 I C間及び(仮称)豊岡南 I C～(仮称)豊岡 I C間) (事業主体：国土交通省、事業期間：平成18年～及び平成28年～) ・山陰近畿自動車道 (浜坂道路 余部 I C～新温泉浜坂 I C間) (事業主体：兵庫県、事業期間：平成20年～平成29年) ・(主)豊岡竹野線 城崎大橋 (橋梁架替) (事業主体：兵庫県、事業期間：平成28年～) 		
その他		
(広域的地域活性化のために連携して実施する施策)		
<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県豊岡市基本計画〔地域未来投資促進法に基づく基本計画〕 (計画主体：豊岡市、計画期間：平成29年12月22日～平成35年3月31日) 		
連携内容：観光・まちづくり分野の促進に資する取組み		

(注) 今後の社会情勢や交付される予算規模により、事業箇所や実施期間等を変更する可能性があります。

(備考-2) 参考図面 (社会資本総合整備計画 広域連携事業)



(注) 今後の社会情勢や交付される予算規模により、事業箇所や実施期間等を変更する可能性があります。 2

社会資本整備総合交付金チェックシート

(広域連携事業)

計画の名称:山陰海岸ジオパーク圏域3府県周遊観光活性化計画(重点) 事業主体名:兵庫県

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1)基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
(該当するものに○) ① 国土形成計画全国計画 ② 国土形成計画広域地方計画、北海道総合開発計画又は沖縄振興計画 ③ 社会資本整備重点計画 ④ 環境基本計画 ⑤ その他(以下の空欄に計画名を記載)	○
②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係	
1)広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
2)広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
4)拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性	
1)拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
2)拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
2)事業実施のための環境整備が図られている。	○

計画の名称	山陰海岸ジオパーク圏域3府県周遊観光活性化計画												
計画の期間	平成30年度～平成34年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	兵庫県												
計画の目標	鳥取県・兵庫県・京都府の3府県の日本海沿岸部をエリアとする、世界ジオパークネットワークに加盟の“山陰海岸ジオパーク”圏域では、地質遺産をはじめとした多様な地域資源を保全し、教育・観光・地域産業に活用することで、地域活性化を図る活動が行われている。これらの活動に合わせ、拠点施設間のアクセス強化や拠点施設周辺の整備を推進し、広く圏域外からの来訪者の増加を図ることにより、広域的な地域活性化を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,450	A	3,450	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26~H28平均値)	中間目標値 (H32)	最終目標値 (H34)
1	【鳥取県・兵庫県・京都府 共通目標】 観光入込客数273万人(H26~H28平均値)から286万人(H34)に増加 (13万人(5%)の増加)			
	【鳥取県・兵庫県・京都府 共通目標】 山陰海岸ジオパークエリアにある拠点施設の観光入込客数 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の観光入込客数 - H26~28年度の年間観光入込客数の平均値) / (H26~28年度の年間観光入込客数の平均値)	273万人	281万人	286万人
2	【兵庫県 単独目標】 観光入込客数156万人(H26~H28平均値)から163万人(H34)に増加 (7万人(5%)の増加)			
	【兵庫県 単独目標】 兵庫県内の山陰海岸ジオパークエリアにある拠点施設の観光入込客数 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の観光入込客数 - H26~28年度の年間観光入込客数の平均値) / (H26~28年度の年間観光入込客数の平均値)	156万人	160万人	163万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-
○全体事業費に占める効果促進事業費(提案事業)割合は、0%となる。○その他事項については、備考-1に記載。								

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	H32	H33	H34			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-001	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	国道	改築	(国) 482号 片間工区	現道拡幅 L=1.0km	豊岡市	■	■	■	■		600	—	
	A11-002	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	(主) 日高竹野線 轟工 区	現道拡幅 L=0.3km	豊岡市	■	■	■			550	—	
	A11-003	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	(主) 香住村岡線 境工 区	現道拡幅 L=0.8km	香美町	■	■	■			1,100	1.1	—
	A11-004	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	(一) 茅野福岡線 大谷 バイパス	バイパス L=1.7km	香美町	■	■	■	■	■	600	—	
	A11-005	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	(一) 福岡出合線 葛畑 工区	現道拡幅 L=0.1km	養父市	■	■				150	—	
	A11-006	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	(主) 関宮小代線 吉井 工区	バイパス L=2.1km	養父市	■	■	■			450	—	
											小計						3,450		

(注) 今後の社会情勢や交付される予算規模により、事業箇所や実施期間等を変更する可能性があります。

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況								
												H30	H31	H32	H33	H34											
一体的に実施することにより期待される効果																											
備考																											
											合計							3,450									

（注）今後の社会情勢や交付される予算規模により、事業箇所や実施期間等を変更する可能性があります。



(注) 今後の社会情勢や交付される予算規模により、事業箇所や実施期間等を変更する可能性があります。

社会資本整備総合交付金チェックシート

(広域連携事業)

計画の名称:山陰海岸ジオパーク圏域3府県周遊観光活性化計画 事業主体名:兵庫県

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1)基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
(該当するものに○) ① 国土形成計画全国計画 ② 国土形成計画広域地方計画、北海道総合開発計画又は沖縄振興計画 ③ 社会資本整備重点計画 ④ 環境基本計画 ⑤ その他(以下の空欄に計画名を記載)	○
②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係	
1)広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
2)広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
4)拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性	
1)拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
2)拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
2)事業実施のための環境整備が図られている。	○